

区民のためのオープンダイアログ

対話のまちづくり コーディネーター講座

2026年度 第5期ベーシックコース

講師：森川すいめい氏（精神科医・オープンダイアログトレーナー）

星野概念氏（精神科医など。）

日程：【1・2回目】2026年7月11日（土）・12日（日）

【3・4回目】2026年9月26日（土）・27日（日）

【5・6回目】2026年11月28日（土）・29日（日）

各日10時～17時（休憩1時間有り）

会場：渋谷インクルーシブシティセンター〈アイリス〉

渋谷区桜丘町23-21 渋谷区文化総合センター大和田8階

募集期間：2026年5月15日（金）9時～6月2日（火）17時

対話のまちづくりコーディネーター講座は、**対話を通して地域の課題や問題に取り組む実践者を養成するプログラム**です。講座ではオープンダイアローグのエッセンスと共に、トラウマインフォームドアプローチについても学び、困難な状況にいたり、関係の中で力の格差がある場合などに、心の傷と共にある方が安心して話ができる、安全で水平な対話の場をコーディネートする力を身に着けます。

1日6時間、全6日間、対話のワークを中心とした実践的なプログラムです。ワークでは自分の話をしたり、他の人の話を聞くといった時間もあります。スタディグループを作って講座以外でグループで集まり、学びを深める時間や、学んだことを分かち合う”対話の収穫祭“というイベントもあります。この講座には答えはなく、自分で気づくプロセスを大事にしています。**心理的な負荷がかかることもありますので、日常生活の中でご自身の心身をケアする時間も十分に確保しながら受講してください。**

地域課題に関心があり、具体的な関わり方を探している人、地域活動やボランティア活動に興味のある人、地域とのつながりを作っていきたい人などのご参加をお待ちしています！

講師



森川すいめい氏

1973年、東京生まれ。精神科医。鍼灸師。オープンダイアローグトレーナー。2003年にホームレス状態にあるひとを支援する団体「TENOHASHI (てのはし)」を立ち上げ、現在はその仲間たちで立ち上げたゆうりんクリニックで診療を行う。著書に『漂流老人ホームレス社会』（朝日文庫、2015）、『その島のひとたちは、ひとの話をきかない』（青土社、2016）、『感じるオープンダイアローグ』（講談社現代新書、2021）等がある。



星野概念氏

精神科医など。精神科医として働くかたわら、執筆や音楽活動も行う。いくつかの場所での連載や寄稿のほか、著作もあり。音楽活動はさまざま。著書に、いとうせいこう氏との共著『ラブという薬』（2018）、『自由というサプリ』（2019）（ともにリトル・モア）、単著『ないようである、かもしれない～発酵ラブな精神科医の妄言』（2021）（ミシマ社）、『心をそのまま感じられたら』（2023）（講談社）がある。対話や養生、人がのびのびとできることについて考えている。

講座内容



7月11日（土）・12日（日）

「オープンダイアログとトラウマインフォームドアプローチのエッセンスを学ぶ」

内容：オープンダイアログとトラウマインフォームドアプローチの基礎知識をワークを通じて体感しながら学んでいきます。

9月26日（土）・27日（日）「水平で安全な対話」

内容：子どもと大人、上司と部下、支援者と要支援者など、力の勾配が生まれやすい構造の中でも安心して話ができる対話の場の作り方を考えます。

11月28日（土）・29日（日）「多様な声との対話」

内容：様々なバックグラウンド、社会的役割、ジェンダー等のちがいを持つ人々との対話は時に理解することが難しかったり、不安を感じることもあります。多様な声にどう耳を傾げるのか、対話を重ねていきます。

オープンダイアログとは？

1984年にフィンランドの精神科ケロプダス病院で生まれた対話を軸としたメンタルヘルスケアのアプローチ。オープンダイアログは「開かれた対話」と訳されるように、困りごとがある本人や関係する人たちが一堂に集まり対話を行います。この対話によるケアで精神面に困難を抱えた人の回復に大きな成果をあげており、その効果の高さから世界中で注目を集めています。また、「聴ききる、話しきる」ことを大切にする対話の考え方は、フィンランドでは精神医療の分野だけでなく学校や職場、家庭や議会でも活用されており、様々な形で対話の場が開かれています。

トラウマインフォームドアプローチとは？

「誰もが人生の中で、心に痛みの残る出来事や傷ついた経験を抱えているかもしれない。」そんな前提に立って、目に見える行動や言動だけで相手を決めつけたり、とがめたりせず、困難や痛みの背景や、その人なりの対処の仕方に、想像力を向けながら関わっていく考え方は、その人が自らの力で回復していくのを支えるのと同時に、個人の回復にとどまらず、一人ひとりの尊厳が大切にされ、誰もが声を失わずに関われる関係や社会の土台をつくるための大切な視点でもあります。

募集人数：24名

参加要件：渋谷区在住・在勤・在学

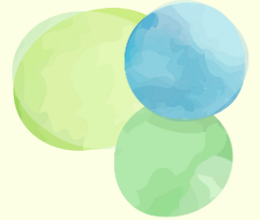
アイリス登録団体で登録区分1（A・B）の構成員
参加条件にご了承いただける方

申込フォーム



～参加条件～

- ①全日程に参加できる
- ②共に学ぶ仲間を大切にし、互いに協力できる
- ③自分の中の偏見と向き合う努力ができる
- ④心身がつらいときは自分のケアを大切にできる
- ⑤変化していく過程を楽しめる
- ⑥早急に答えを求めず、不確かさや不思議さに取り組める
- ⑦渋谷区の活動やアイリスの取りくみに積極的に協力できる



申込期間：5月15日（金）9時～6月2日（火）17時

申込方法：右上のQRコードより電子申請（Grafferスマート申請）でお申込ください。

<https://ttzk.graffer.jp/ward-Shibuya/smart-apply/apply-procedure-alias/taiwa2026/door>

* 応募者多数の場合は抽選にて受講生を決定します。

抽選結果は6月4日（木）以降、お申込の方全員にお送りします。

* 合格された方は志望動機（400字程度）を6月17日（水）までにご提出
いただきます。ご提出がない場合はキャンセルとなります。

*** この講座はオープンダイアログのファシリテーター認定講座ではありません。
認定証や資格証明書は発行されません。ご了承の上お申し込みください。**

お問合せ：渋谷インクルーシブシティセンター〈アイリス〉
渋谷区桜丘町23-21 渋谷区文化総合センター大和田8階
電話：03-3464-3395 FAX：03-3464-3398

